参考資料４
シンポジウムの結果について

●企画概要

＜タイトル＞
・浜田の未来をみんなと語る日 ～育ち、育てる、浜田へ～
＜開催目的＞
・（仮称）第３次浜田市総合振興計画の周知・公表
・浜田市らしさ、浜田市が目指す未来について、同じ言葉・同じイメージで話せる状態に到達
・ウェルビーイングの実現に向けて、それぞれの幸せの形を共有し、認め合う　等
＜募集方法＞
・市HP、各種SNS、主要施設へのチラシ配布、新聞折り込み、新聞掲載　等
＜会場・日時＞
・**島根県立大学コンベンションホール**・9/6(日)14:00～17:15
＜備考＞
・まちづくりシンポジウムの内容は動画撮影し、後日YouTubeにアップ

議題	時間（分）	担当	内容
開会アナウンス	1		
開会挨拶	5+2(8)	市長	・開会挨拶、浜田市の未来への想い
学生提案	10+2(20) 10+2(32)	ワークショップに 参加したこどもたち	・地域の魅力化事業の発表
パネルディスカッション① ～こどもと考える浜田の未来～	40+2(74)	市長×こどもたち	テーマ１ ・地域の魅力を高めるためには テーマ２ ・また帰ってきたくなる・関わり続けたくなるまちにするには
休憩	10(84)	---	---
パネルディスカッション② ～そとからみる浜田らしさ～	50+2(136)	市長×移住者・関係人口	テーマ１ ・そとからみる浜田らしさ テーマ２ ・浜田市らしさを育てるためには
パネルディスカッション③ ～うちからみる浜田らしさ～	50+2(188)	市長×Uターン者・定住者	テーマ１ ・うちからみる浜田らしさ テーマ２ ・浜田市らしさを育てるためには
閉会挨拶	3+2(193)	市長	・閉会挨拶
アンケート記入	2(195)	---	---

●シンポジウムの開催概要

・2026年9月6日に「浜田の未来をみんなと語る日」を開催し、参加者数は147名となりました。



浜田の未来をみんなと語る日

～育ち、育てる、浜田へ～

市長コメント

浜田市では、現在、新しい「総合振興計画」の策定を進めています。この計画は、これからの8年間のまちづくりの方向性を示す大切な計画です。
今回のシンポジウムでは、学生や地域で挑戦・活躍する若者など、浜田らしい未来をつくる多彩な皆さんにご登壇いただきます。一人ひとりの挑戦や想いに触れながら、「こんな浜田なら暮らしてみたい」「こんな浜田をつくっていきたい」と感じていただける時間になればと思っています。
ぜひご参加いただき、これからの浜田について一緒に考えてみませんか。

浜田市長　三浦 大紀

プログラム

学生提案　島根県立大学 学生／島根大学 学生／島根県立浜田水産高等学校 生徒

パネルディスカッション① ～こどもと考える浜田の未来～
- テーマ1　地域の魅力を高めるためには
- テーマ2　また帰ってきたくなるまちにするには
- 登壇者　市長／藤後 めぐ氏／熊澤 汰一氏／野島 悠希氏／春木 優作氏／奥野 彰大氏／三原 万葉氏

パネルディスカッション② ～そとからみる浜田らしさ～
- テーマ1　そとからみる浜田らしさ
- テーマ2　浜田らしさを育てるためには
- 登壇者　市長／西山 祐氏／太田 章彦氏／岡田 日菜乃氏／森原 千尋氏

パネルディスカッション③ ～うちからみる浜田らしさ～
- テーマ1　うちからみる浜田らしさ
- テーマ2　浜田らしさを育てるためには
- 登壇者　市長／浅津 芙美氏／小林 龍希氏／小松原 修氏／佐々木 竜弥氏

※テーマは変更する可能性があります。

登壇者

（登壇順）

藤後 めぐ氏	島根県立大学 学生
熊澤 汰一氏	島根県立大学 学生
野島 悠希氏	島根県立大学 学生
春木 優作氏	島根県立大学 学生
奥野 彰大氏	島根大学 学生
三原 万葉氏	島根県立浜田水産高等学校 生徒
西山 祐氏	地域おこし協力隊
太田 章彦氏	株式会社やさかプロダクツ 代表取締役／弥栄町複業協同組合 事務局長
岡田 日菜乃氏	島根県立大学 学生
森原 千尋氏	中山農園株式会社
浅津 芙美氏	浜田おやこ劇場 理事長
小林 龍希氏	細川神楽衣裳店
小松原 修氏	株式会社小松ファーム 代表取締役
佐々木 竜弥氏	Adelo代表取締役

ファシリテーター

田中 輝美氏	島根県立大学 准教授

島根県立大学 浜田キャンパス内マップ



●学生提案の概要

若者の拠点づくり事業



- 浜田駅周辺に、若者が気軽に集まり、過ごせる拠点をつくる
- 自習・交流・飲食・娯楽など、若者が求める複数の機能を集積する
- 飲食・娯楽・自由枠は高校生・大学生から企画を公募し、若者自身が拠点づくりに参加する
- 4か月間の社会実験を通じて、若者の交流・挑戦や駅周辺への人の流れを生み出す
- 実験結果を検証し、継続的な若者拠点としての本事業化を判断する

中心市街地活性化事業



- 中心市街地を「行くこと自体が目的になる街」に転換する
- シェアモビリティを導入し、街なかを自由に回遊できる環境をつくる
- 飲食・物販・若者拠点など、点在する目的地をつなぎ街全体を「ひとつの大きなモール」として捉える
- 空き店舗・空き地等を活用した「まちなか週末テナント制度」により、立ち寄り先や新たな出店を生み出す
- 「移動手段」と「行きたくなる場所」をセットでつくることで、滞在・寄り道・回遊を増やし、中心市街地のにぎわいにつなげる

●パネルディスカッション①～こどもと考える浜田の未来～の概要

問　浜田を魅力的にするために、自分ができること

熊澤：知る・気づく→提言

野島：イベントの企画・運営

春木：人のつながりをつくる

三原：美味しいものをつくる

奥野：自らの行動次第で変えることができるという考えを広めること



問　高校・大学卒業後、浜田市とどのように関わっていきたいか

熊澤：サードプレイス

野島：模索中

春木：関わりたいが本拠地ではない

三原：浜田とつながり続け　浜田の魅力を発信し浜田を盛り上げていきたい

奥野：浜田市の未来を共に創っていきたい



問　移住して気付いた浜田の魅力

西山：企画力・応援力

太田：暮らしで共有している部分が多いこと

岡田：大学があること

森原：文化が皆の楽しみ



問　「浜田らしさ」を未来につなぐために、私たちにできること

西山：地域との関わりを絶やさない

太田：弥栄を存続させること、とがらせること

岡田：巻き込む！巻き込まれる！

森原：緩衝材・新しい風



問　Uターンや長年暮らして気づいた浜田の魅力

浅津：余白

小林：神楽で分かる人と地域のつながり

小松原：継続

佐々木：「バランス」のよさ！



問　「浜田らしさ」を未来につなぐために、私たちにできること

浅津：思い出

小林：参加すること

小松原：関心を持つ

佐々木：在り方について皆で考え続ける！

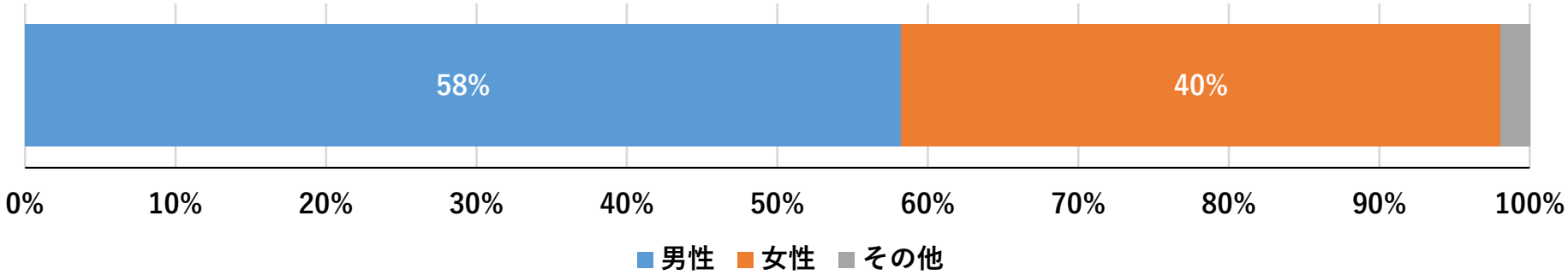


参加者アンケートの結果概要

●問１・問２｜性別・年齢

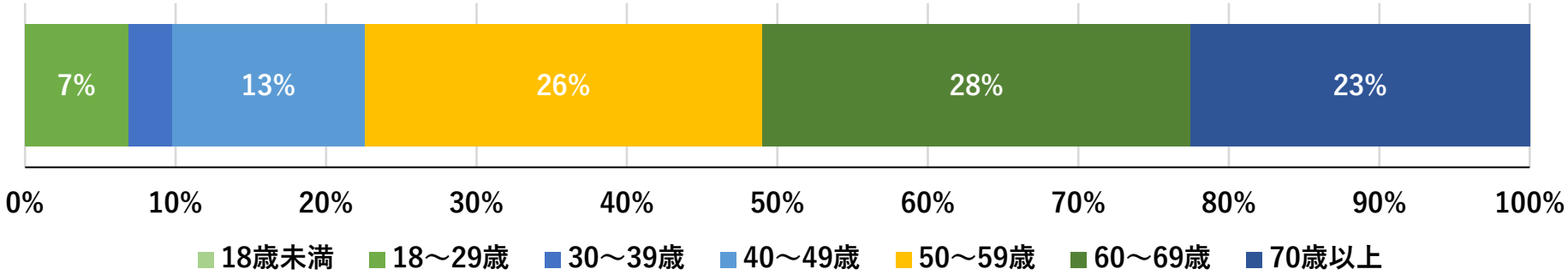
・男性が58％と最も多く、女性40％、その他2％でした。
・年齢は60～69歳が28％で最多、次いで50～59歳が26％、70歳以上が23％でした。

問１．あなたの性別を教えてください。（◯は１つ）



N＝103

問２．あなたの年齢を教えてください。（◯は１つ）

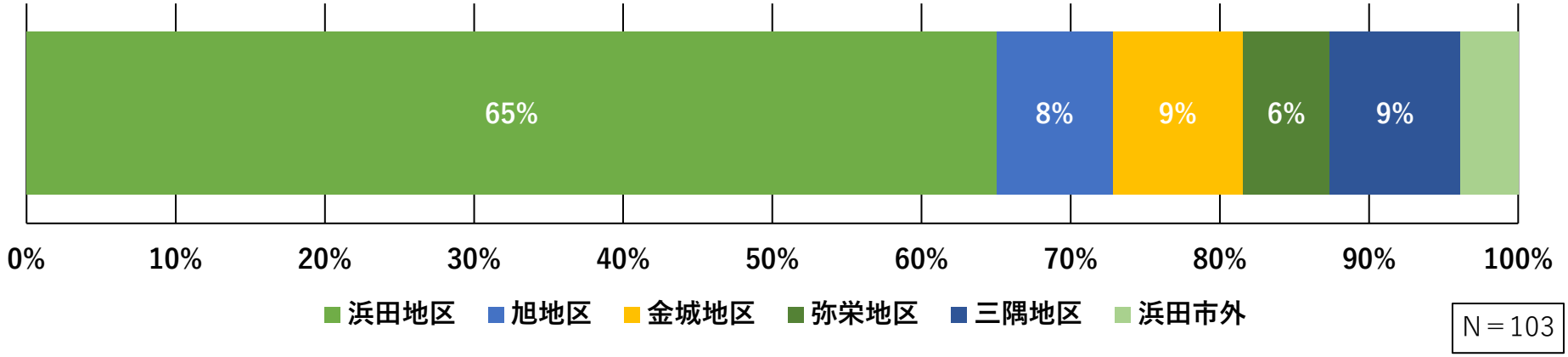


N＝102

●問３｜居住地

・浜田地区が65％と最も多く、旭地区は8％、金城地区は9％、弥栄地区は6％、三隅地区は9％、浜田市外は4％でした。

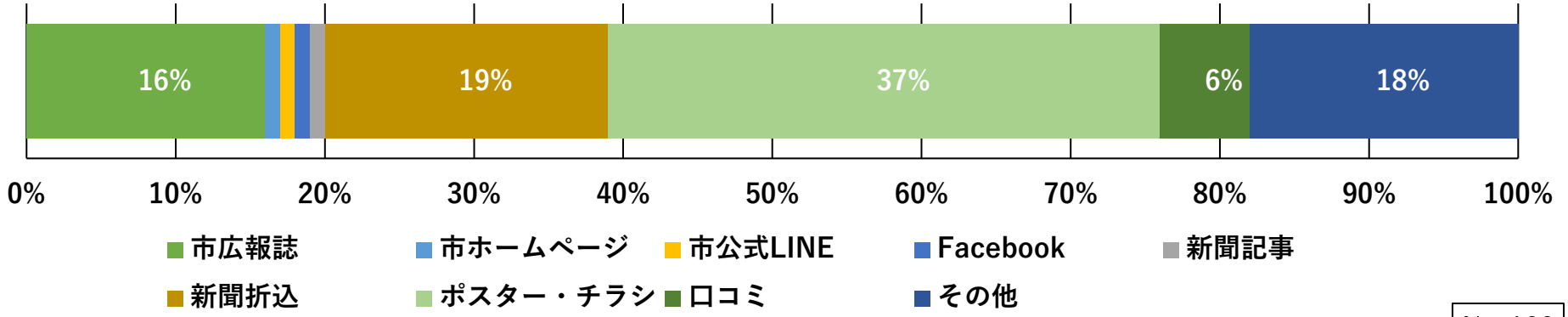
問３．あなたの居住地を教えてください。（◯は１つ）



●問４・問５｜認知経路・参加理由

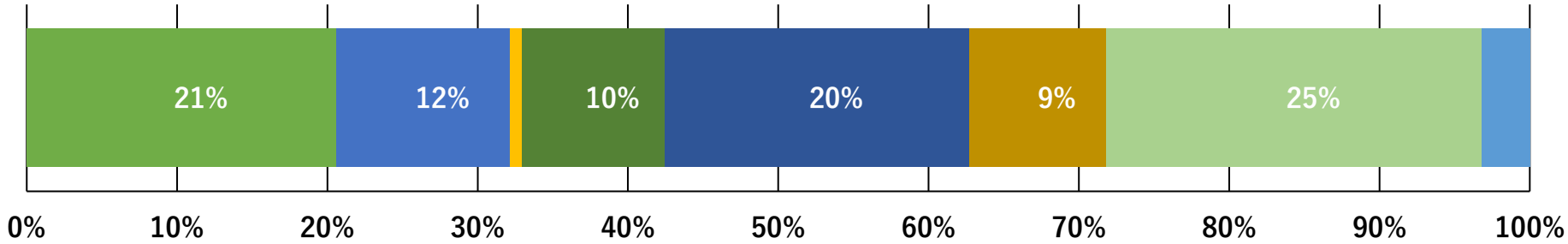
・認知経路は「ポスター・チラシ」が37％と最多で、次いで「新聞折込」が19％、「その他」が18％でした。
・参加理由の選択回答では「まちづくりや市の未来に関心があるから」が25％と最多でした。

問４．このシンポジウムをどこで知りましたか？（○は１つ）



N＝100

問５．今回のシンポジウムに参加した理由について、教えてください。（○はいくつでも可）

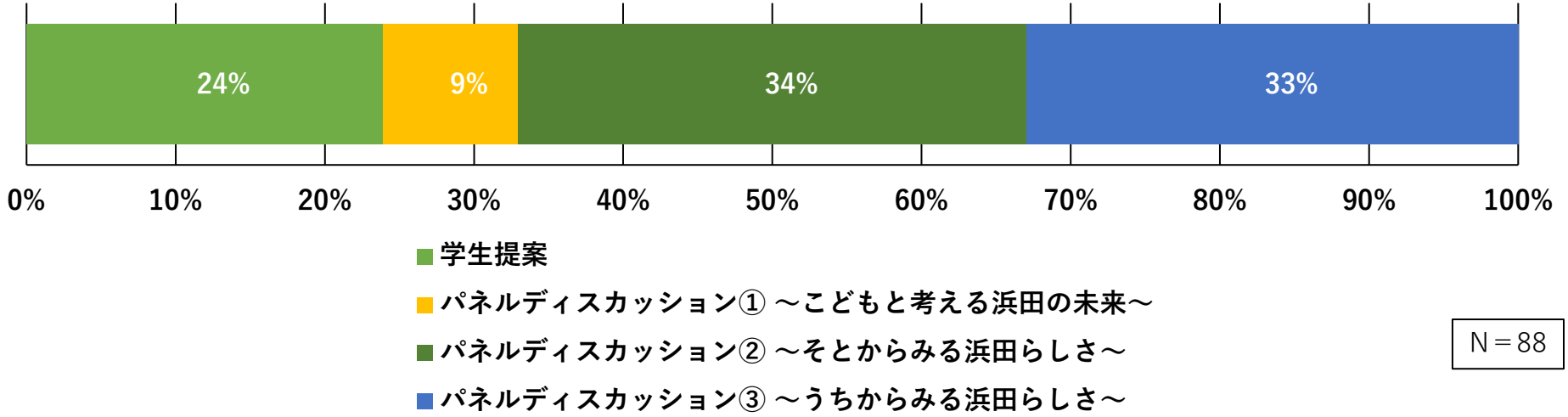


選択数＝252

●問６・問７｜一番印象に残ったテーマ

・一番印象に残ったテーマは、パネルディスカッション②が34%、③が33%で一番多く、学生提案は24%でした。
・印象に残った点として、ディスカッション登壇者の話に共感した等の意見が挙げられました。

問６．今回のシンポジウムで、一番印象に残ったテーマを教えてください。（○は１つ）



N＝88

問７．問６で回答したテーマについて、どのような点が印象に残ったか、教えてください。（自由記述）

代表的な回答の抜粋

学生提案
・若者が描く浜田が、とても参考になった。
・自分で何とかしたいという想いに共感した。

パネルディスカッション①
～こどもと考える浜田の未来～
・若者の声を直接聞けたことが貴重だった。

パネルディスカッション②
～そとからみる浜田らしさ～
・外からの視点で、住んでいる者が忘れている浜田の良さを再確認できた。

パネルディスカッション③
～うちからみる浜田らしさ～
・地域で活動する方の言葉には重みがあり、神楽への熱い想いも印象に残った。

N＝78

●問８｜シンポジウム全体の感想

・浜田の魅力を見つめ直せた等の前向きな評価のほか、開催時間に関するご意見や、広報についての要望など、多様な意見が寄せられました。

問８．シンポジウム全体の感想を、教えてください。（自由記述）

代表的な回答の抜粋

前向きな評価

・様々な立場の話を聞き、浜田の未来を考える良い機会になった。
・浜田への愛を感じ、元気をもらった。
・若い世代や実践者の熱意に、明るさと活気を感じた。

気づき・学び

・外と内の視点から、浜田の魅力を見つめ直せた。
・自分にも何ができるかを考えるきっかけになった。
・人とのつながりや、巻き込む・巻き込まれる大切さを実感した。

内容・構成への要望

・テーマを絞り、一つひとつを深掘りしてほしい。
・全体の時間を短くすると参加しやすい。
・より具体的で実現可能な提案や、行政の対応も聞きたい。

参加・周知への要望

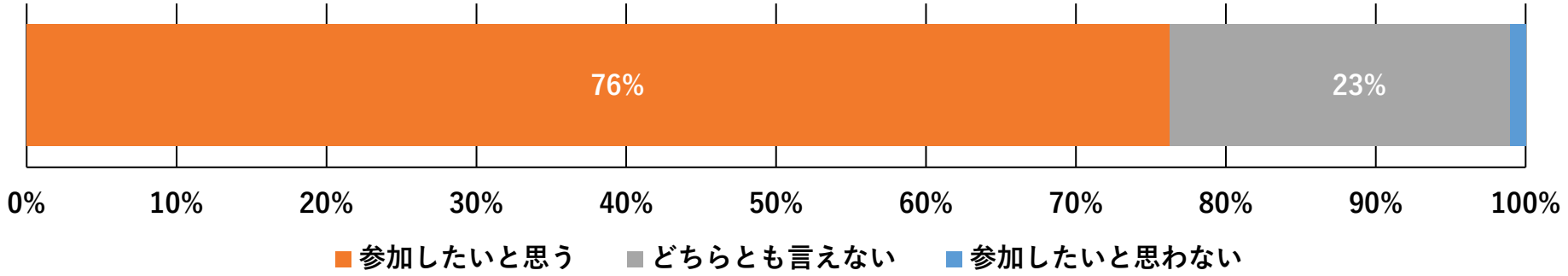
・もっと多くの市民や若者に聞いてもらいたい。
・オンライン配信もあると良い。
・事前周知を充実し、幅広い年代・地域・業種にも参加を広げてほしい。

N＝76

●問９・問１０｜今後の参加意向

・参加意向は「参加したいと思う」が76％で、回答者の約4分の3を占めています。
・次回テーマについては、駅前の活性化や交通、次世代の育成に関するものなどが挙げられました。

問９．今後もまちづくりに関するシンポジウムがあれば、あなたは参加したいと思いますか。（○は１つ）



N＝97

問１０．問９で「１．参加したいと思う」と回答した方にお聞きします。どのようなテーマのまちづくりに関するシンポジウムがあると、良いと思いますか。（自由記述）

代表的な回答の抜粋

具体的なまちづくり課題

・中心市街地・駅前の活性化
・地域交通・モビリティ
・山間地域と市街地のつながり

産業・暮らし・次世代

・各産業の今後、雇用・企業誘致
・子育て・教育・医療・福祉
・若者の居場所、交流の場づくり

N＝51